

第 79 号
平成 22 年
6 月 発行

倫理・道徳

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 澁

倫理とか、道徳ということを話すと、「堅ぐるしい」「自由を制限される」などとマイナスイメージを抱く方が多いかと思えます。世の中の秩序を保つために倫理・道徳は必要だと知っていながらも、自分の事になると反発したり、なんとなく気恥ずかしくなる傾向が強いのではないのでしょうか。「法律が整備されているのだから、倫理だとか、道徳だとかやかましく言わなくてもいい」という思いもあるでしょう。

しかし、私たちが住む共同体の秩序を維持する基本となるものは、倫理・道徳でしょう。その上で必要な法律が定められるのであって、逆ではありません。「困っている人には親切にせよ」という法律があるのでしょうか。親切にするのは、「人のみち」である道徳の領分なのだから、あえてそれを法律化する必要はないでしょう。自分の行動が正しいかどうかを、いちいち法律に照らして判断していたら、大変なことになってしまいます。だからと言って「法に触れなければ何をやってもいい」という歪んだ考えがはびこるようになっては、逆に法律がだんだん増えていくようになり、決して

健全な社会とは言えなくなってしまう。

喜びや感謝は、深くなればなるほど好ましい結果をもたらし、不満や憎しみは逆の結果となるでしょう。たとえば、挨拶は普通他人に対して行う日常の礼儀であり、そこには感謝の意味も含まれています。更に、それを人だけでなく感謝の心を、ふだん使っている道具や車や金銭にまで及ぼしてみてもどうでしょうか。そのような優しい心を持つての生活マナーは人としてお互いに支え合って生きる筋道であるから、実践すれば、人生は好転するし、踏み外せば、悪化していくという「倫理」は厳然として存在するのです。

幸福に暮らしている人は、日常の生活や自然に順応させています。ところが生活マナーに対する知識や自覚が乏しいと、思わぬ苦難に見舞われた時に困惑し、泥沼に引き込まれかねません。今の幸福をより確かなものにしていくためには、倫理・道徳をしつかりわきまえる必要があるでしょう。

望洋荘に住む方々に、職員は優しさと感謝の心をこめて接してください。それが倫理・道徳の基本なのですから。



「おやつバイキング」

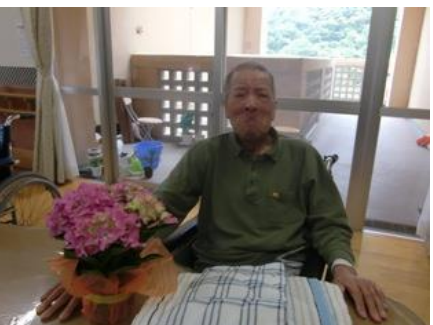
六月十六日（水）午後二時～二階塩屋岬ホールにて「おやつバイキング」を開催いたしました。今回のメニューは「甘納豆入り手作り蒸しパン」「和菓子（星くず・夏金魚）」「プチケーキ（ブルーベリー・カスタードプリン）」「バニラアイスクリーム」です。どれも美味しそうで食べ過ぎてしまいそうでした。

「お買い物＆外食」 四倉ユニット

六月二十五日（火）午前一〇時～四倉ユニットの入居者様三名でお買い物と外食に「マルト君ヶ塚店」と鹿島の「回転寿司スシロー」に行ってきました。前日に何をかうのか決めており、スムーズにお買い物が出来ました。スシローでは好きな寿司ネタを選んで食べ、最後にデザートでしめるなど、終始笑顔が絶えませんでした。

「父の日」 望洋荘家族会

六月二〇日（日）「父の日」に望洋荘家族会様より紫陽花の鉢植えのプレゼントがありました。紫陽花はまさにこの時期の花で、力強く沢山の花を咲かせていました。当日は『カラオケ倶楽部』の活動もあり、今回からウクレレとギターの伴奏ほかにハーモニカを取り入れ、より深みのある演奏となりました。みんなで懐メロをメドレーで行い楽しく歌われました。



「一診療所における四半世紀にわたる患者動向の検討」
・・・其三

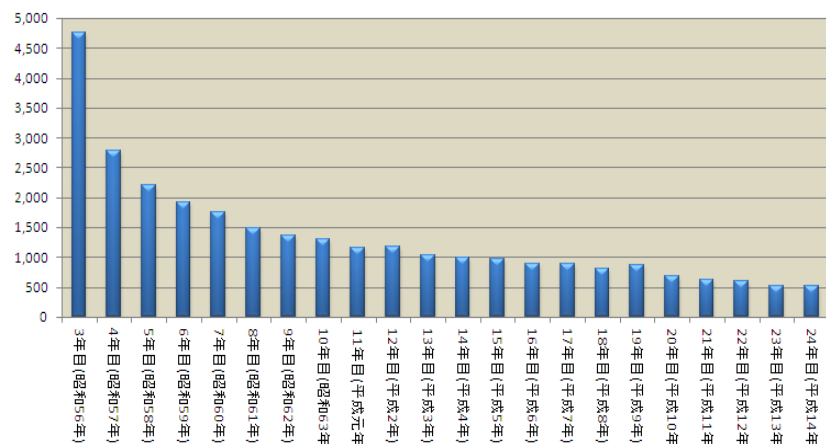
いわき市に於ける一診療所（有床）の外來・入院で来院した患者動向について検討した。少子高齢化して行つたこの四半世紀の経過がこの調査でどの様に推察されるか興味のある所である。
今回は開設三年目を主にして報告する。

診療所（有床診療所）における四半世の患者動態（昭和56年）

① 3年目来院患者総数 4,754名（うち 男性2,474名 女性2,280名）

3年目新規来院患者総数 2,370名（うち 男性1,248名 女性1,122名）

② 3年目来院患者全体のその後の再来院状況

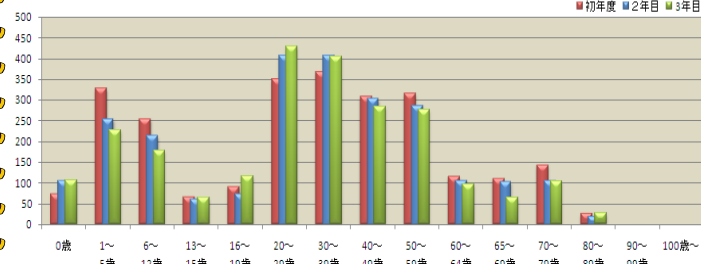


3年目(昭和56年)	4年目(昭和57年)	5年目(昭和58年)	6年目(昭和59年)	7年目(昭和60年)	8年目(昭和61年)	9年目(昭和62年)	10年目(昭和63年)	11年目(昭和64年)	12年目(昭和65年)
4,754	2,792	2,197	1,918	1,751	1,490	1,367	1,306	1,150	1,168
13年目(昭和66年)	14年目(昭和67年)	15年目(昭和68年)	16年目(昭和69年)	17年目(昭和70年)	18年目(昭和71年)	19年目(昭和72年)	20年目(昭和73年)	21年目(昭和74年)	22年目(昭和75年)
1,043	999	971	897	896	815	873	685	630	600
23年目(昭和76年)	24年目(昭和77年)								
527	522								

① 開業三年目での来院者総数は四七五四名で男性が一九四名多く来院している。

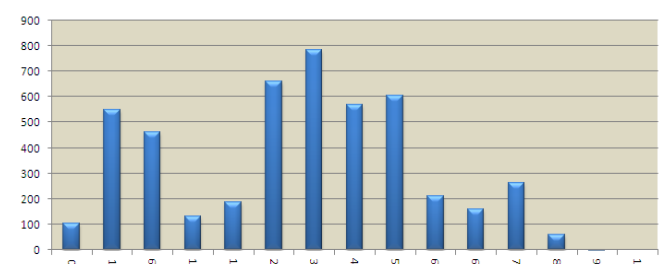
② この年度の来院者は二二七〇名で男性が二二六名多い。三年来院患者全体の再来院状況は昨年と同様に一〇年目までは、全体の二五%が来院、以後徐々に一〇%前後に減少の来院数である。

③ 初年度から3年目までの年齢区分比較



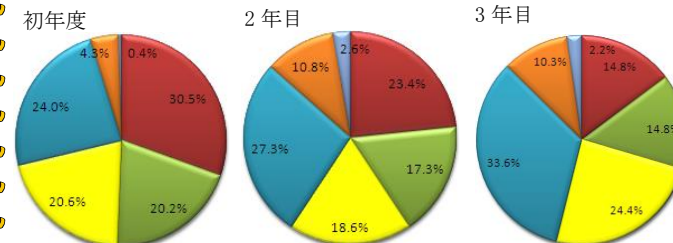
年齢区分	初年度	2年目	3年目
0歳	75	106	105
1～5歳	327	254	227
6～12歳	254	213	177
13～19歳	67	61	64
20～29歳	92	75	115
30～39歳	349	406	429
40～49歳	367	407	403
50～59歳	307	303	284
60～69歳	0	0	0
70～79歳	0	0	0
80～89歳	0	0	0
90～99歳	0	0	0
100歳以上	0	0	0
合計	2,547	2,447	2,370

④ 三年次全患者の年齢区分



年齢区分	0歳	1～5歳	6～12歳	13～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上
人数	105	550	463	132	185	659	785	567	604	212			
年齢区分	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計							
人数	160	262	59	1	0	4,754							

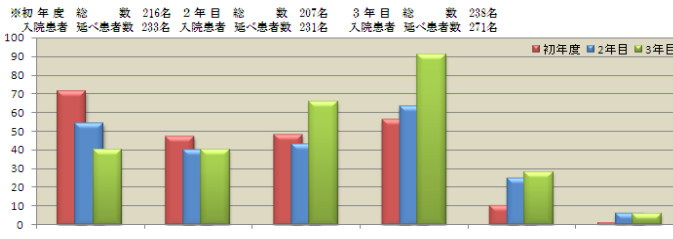
入院日数別割合



■ 7日以内 ■ 8～14日 ■ 15～30日 ■ 31～90日 ■ 91～180日 ■ 181日以上

⑤ 三年目の全体の入院状況は 207 名で延べ入院患者は 271 名である。7 日以内の入院数が減少し徐々に長期入院患者数が増えている

⑥ 初年度と3年目の入院患者比較



入院日数	7日以内	8～14日	15～30日	31～90日	91～180日	181日以上	合計
初年度	71	47	48	56	10	1	233
2年目	54	40	43	63	25	6	231
3年目	40	40	66	91	28	6	271

一考察

今回は昭和54～56年の三年間における患者の外來と入院の統計的処理の観察をした。この時期も依然として少子高齢化はみられていない。しかし入院在院日数の長期化が徐々にみられている。

③ 三年次来院全患者の年齢別の状態をみると一年目、二年目と変わらない。

④ この三年間の新規来院者の状態をみると、乳幼児、小学生が多く変化がない。依然として 20～50 歳代は変わりなく多く来院している。

「平成二十一年度決算報告」
平成二十二年三月三十一日現在

勘定科目	金額（円）	勘定科目	金額（円）	勘定科目	金額（円）
資産の部		負債の部		事業収支活動の部	
流動資産	121,157,531	流動負債	18,231,036	収入	406,998,126
現金	0	未払金	18,203,728	支出	388,090,658
預金	66,464,307	預り金	27308	収支額	18,907,468
未収入金	49,834,685				
立替金	52,260			事業活動収支外の部	
前払金	3,614,308	固定負債	279,061,540	収入	95,784,232
時蔵品	1,191,971	設備資金借入金	257,882,000	支出	95,922,837
固定資産	1,265,418,505	退職給与引当金	10,851,540	収支額	-138,605
土地	116,295,160	賞与引当金	10,328,000		
建物	909,108,596			特別収支の部	
建物付属設備	108,422,565	負債の部合計	297,292,576	収入	8,739
構築物	92,303,380	純資産の部		支出	1
機械及び備品	22,682,439	基本金	228,151,160	収支額	8,738
車輜運搬具	4,505,726	国庫補助金等特別積立金	745,668,831		
器具及び備品	1,064,099	次期繰越活動収支差額	115,463,469	当期活動収支差額	
権利	175,000				18,777,601
有価証券	10,000			繰越活動収支差額の部	
退職共済預け金	10,851,540	純資産の部合計	1,089,283,460	前期繰越活動収支差額	96,685,868
資産の部合計	1,386,576,036	負債及び純資産の部合計	1,386,576,036	当期末繰越活動収支差額	115,463,469
				次期繰越活動収支差額	115,463,469

「社会福祉法人りんさく福祉会」平成 21 年度決算報告（H21/4/1～H22/3/31）が役員会総会（理事会・評議委員会）にて承認されましたので、上記の通りご報告させていただきます。今後も入居者の皆様方が安心して暮らしていける為に、持続性の高い施設運営に務めてまいりますのでよろしくお願い致します。

「後期高齢者医療」
被保険者証の更新について

「後期高齢者医療制度被保険者証」の有効期限が毎年七月三十一日となっております。こちらは、七月中に入居者様の現住所に直接送られる事になっております。ご自宅に「後期高齢者医療制度被保険者証」が届きましたら、七月三十一日までに望洋荘にお持ち下さいますようお願い致します。

七月の行事予定

七月三日（水）午後二時～
「コーラス」虹色コーラス友の会様
七月十七日（土）午後七時～
「第5回望洋荘花火大会」正面玄関前駐車場
※雨天時「ピロティ」職員駐車場にて行います
ご家族様のご参加をお待ちしています。
七月二十五日（日）午前一〇時～正面玄関前
「すいか割り」勿来ユニット
七月二十八日（水）午後二時三〇分～
「フラダンス」Bフラット様

「七月のお誕生会予定」

七月十七日（金）
豊間 白岩ハナ子様（九八歳）誕生会
七月二十七日（火）
豊間 清野カネヨ様（九〇歳）誕生会

編集後記

『望洋荘』便り
平成二十二年六月三十日発行
発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人りんさく福祉会
介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255